

次世代を育み 生活・文化・歴史がつながる もりおかの魅力発信予算

当初予算の概要

本年度の予算編成に当たり、市民の生命と生活を守る施策を第一に、社会の変化を的確に捉えた持続可能な行政サービスの実現に向けた取り組みを進めます。



ニューヨーク・タイムズ紙の「2023年に行くべき52カ所」に「もりおか」が世界で2番目に選ばれたことは、本市が目指すまちの将来像である「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」につながるものです。今日まで先人の礎を大切に受け継ぎ、発展してきた魅力を持続・発信するため、2つの戦略プロジェクトを中心に、次の5つの視点から、予算の編成を進めました。

予算編成 5つの視点

- 1 子育て** 若い世代や子育て世代に関する施策を充実させる
- 2 雇用** 産業の振興や魅力向上、働く場所の創出に取り組み、若者の地元定着を推進する
- 3 安全** 市民の安全・安心な暮らしを確保する
- 4 魅力** 盛岡の風土と歴史から盛岡の価値や魅力を再発見し、市民の誇り、シビックプライドに結び付ける
- 5 賑わい** 交流機会の創出によるにぎわいと活気があふれるまちをつくる

予算総額 1218億7000万円

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



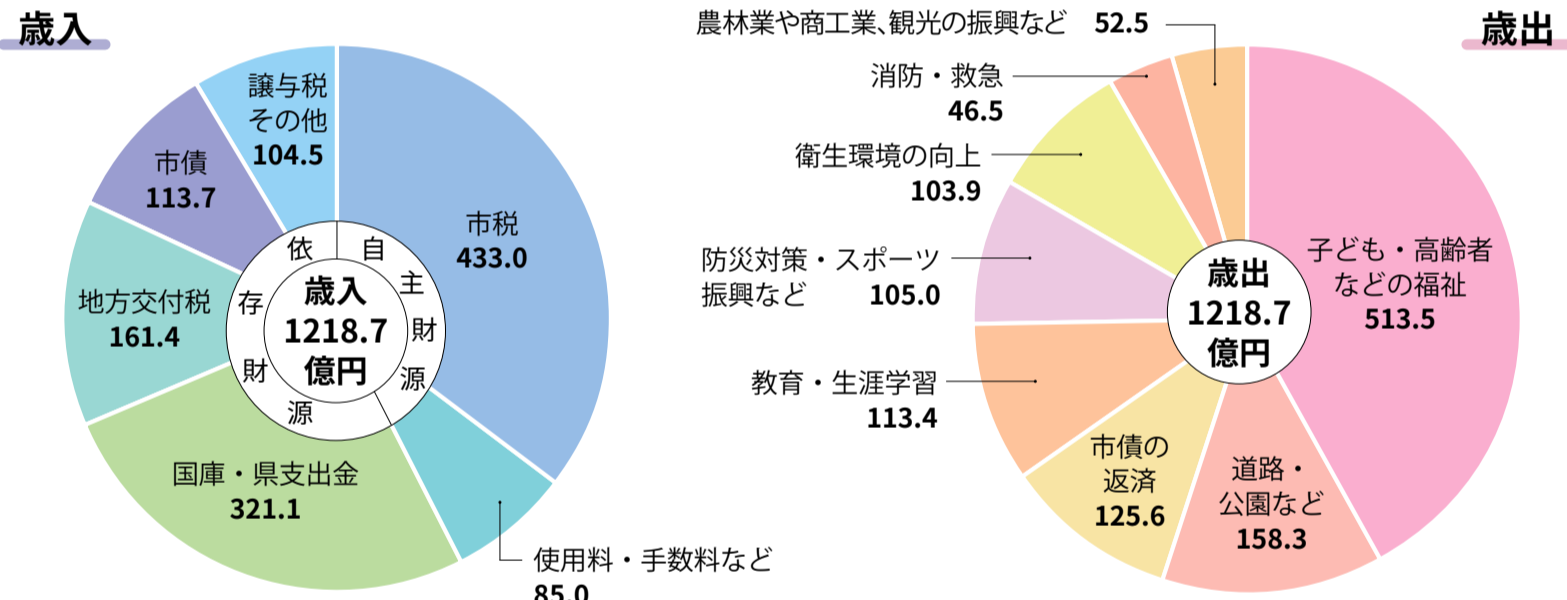
一般会計 1218億7000万円

(前年度比 4.5%↓)

認定こども園等運営費給付事業を含む子ども・子育て事業、障がい者の自立支援事業などの社会保障関係経費、玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業などの総合計画事業、公共施設の保有最適化・長寿命化計画による大規模改修事業など、必要とされる財政需要に対応するため、過去2番目の予算規模となっています。

一般会計の内訳

【単位】億円



- 市税 前年度比1億8037万円減 0.4%↓
社会経済活動は徐々に回復してきているものの、法人市民税の回復が遅れることを考慮し減収見込み
- 国庫・県支出金 前年度比31億5525万円減 8.9%↓
新型コロナウイルスワクチン接種に関する国庫支出金の減額や、盛岡南公園野球場整備事業に関する県負担金の減額など
- 地方交付税 前年度比8億870万円増 5.3%↑
地方財政計画の状況や本市の税収見込みなどによる増加

- 子ども・高齢者などの福祉 前年度比6億2019万円増 1.2%↑
認定こども園等運営費給付事業、訓練等給付事業、高校生等医療費給付事業に要する経費の増加など
- 道路・公園など 前年度比12億5180万円減 7.3%↓
都南中央第三地区土地区画整理事業、道明地区土地区画整理事業に要する経費の減少など
- 教育・生涯学習 前年度比1億3240万円増 1.2%↑
玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館整備事業、小・中学校の校舎安全対策改修事業、図書館大規模改修事業に要する経費の増加など
- 防災対策・スポーツ振興など 前年度比47億4401万円減 31.1%↓
盛岡南公園野球場整備事業、太田地区活動センター外2施設複合化・大規模改修事業に要する経費の減少など
- 衛生環境の向上 前年度比5億1572万円減 4.7%↓
新型コロナウイルスワクチン接種事業、感染症予防事業に要する経費の減少など

財政の健全性確保 本年度末の一般会計における市債(借金)の残高は、前年度比5億3531万円減の1418億5615万円となる見込みです。また、市の貯金である基金については、公共施設等整備基金から9億6227万円、財政調整基金から18億961万円を取り崩すこととしました。厳しい財政状況ですが、災害等の不測の事態に対応できるよう、適正な基金規模を維持しながら、効果的な活用を図っていきます。

特別会計 581億8023万円

(11会計) (前年度比 1.1%↑)

特別会計は、国民健康保険費や介護保険費など、特定の収入や支出を一般会計と切り離し、11の会計からなっています。本年度は、介護保険費特別会計で地域密着型介護サービス給付費などの保険給付費の増額や、新産業等用地整備事業費特別会計で第二事業区の基盤整備事業等の増額などを見込んでいます。

総合計画の4つの基本目標

目指す将来像の実現のため、まちづくりの理念や方向性を示す4つの基本目標を設定しています。特に力を入れる事業は次のとおりです。

1 人がいきいきと暮らすまちづくり ●消防団管理事務 2億2236万円 ●高校生等医療費給付事業 9870万円 ●高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業 463万円 ●県央ブロックごみ処理体制検討協議会負担金 375万円	3 人を育み未来につながるまちづくり ●コンピュータ教育設備整備事業 2億3422万円 ●若者の就業支援事業 2073万円 ●自然環境等保全事業 910万円
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり ●いわて盛岡ボールパーク管理運営事業 2億7645万円 ●市史編さん事業 5402万円 ●移住・定住・交流人口対策事業 3964万円 ●内丸地区再整備事業 2000万円	4 人が集い活力を生むまちづくり ●公共交通利用促進対策事業 4億6209万円 ●飲料水供給施設管理運営事業 7840万円 ●木育推進事業 304万円 ●友好都市等交流事業 114万円

原油価格・物価高騰等への対策事業

(令和5年度1号補正) 20億336万円

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 14億7093万円
- 商業振興事務 2億1431万円
※市中小企業者等事業継続緊急支援金支給事業
- 農業生産対策事業 8343万円
※農業燃油等価格高騰対策支援事業
- 学校給食運営事業 7439万円
※学校給食材費補助



重点的に取り組む施策

総合計画の目指す将来像の実現に向け、優先して取り組む「戦略プロジェクト」には、重点的に予算を配分しています。主な新規・拡充事業は次のとおりです。

未来のもりおかを創る若者・しごと応援プロジェクト 52事業 17億5282万円

若者と女性が地元で定着し活躍することで、持続可能で活力のあるまちづくりを推進します。

- | | |
|--|--|
| 新規事業
●出産・子育て応援交付金等事業 1億9053万円
伴走型相談支援と、経済的支援の2つの支援を実施し、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備
●企業サポート専門員の配置 319万円
市内企業を訪問し、それぞれの企業が持つ課題解決を支援 | ●盛岡南地区物流拠点整備事業 8445万円
物流事業者の立地を想定した新たな産業等用地の整備を推進
●余裕教室を活用した放課後児童クラブ整備事業 3800万円
桜城小学校の余裕教室を活用した放課後児童クラブの整備
●放課後児童クラブ家賃補助 470万円
放課後児童クラブに対する賃借料補助の補助率を4分の1から3分の1に引き上げ
●不妊に悩む方への特定治療支援事業 208万円
不妊専門相談センターで不妊・不育症に関する相談支援や治療に関する情報提供をするほか、特定不妊治療に係る交通費の一部を助成 |
| 拡充事業
●(仮称)太田児童センター整備事業 3億64万円
児童センター未設置地区である太田小学校区への児童センターの整備 | |

回復から成長へ！まちなか交流・にぎわいプロジェクト 37事業 15億6686万円

多くの人が行き交い、コロナ前よりもにぎわいと活気にあふれるまちづくりを推進します。

- | | |
|--|--|
| 新規事業
●タウンマネージメント機関支援事業 665万円
盛岡まちづくり(株)が運用するA Iを活用した動画解析による人流分析の運用を支援するほか、地域活性化起業人制度を活用し、タウンマネージメント機能を強化
●地域おこし協力隊活用事業 480万円
中心市街地の活性化のため、地域おこし協力隊を配置し、商店街等のイベント開催を支援するなど、にぎわいを創出 | 拡充事業
●市街地再開発事業(中ノ橋通一丁目地区) 7億6997万円
同地区のにぎわい創出のため、民間による再開発の事業費の一部に対して補助
●芸術文化活動振興事業(盛岡国際俳句大会) 638万円
盛岡の豊かな自然環境や生活に根付いた歴史・風土などの魅力を再発見し、国内外に発信 |
|--|--|

公共施設保有最適化・長寿命化計画事業 55億9938万円

市は、小学校や市営住宅などの施設の「最適化」と「長寿命化」に取り組んでおり、本年度は66施設で大規模改修などを予定しています。主な事業は次のとおりです。

- 校舎安全対策改修 9億4700万円
- 図書館大規模改修 7億2056万円
- 飯岡農業構造改善センター外3施設・都南老人福祉センター複合化 4億4197万円
- 北陵中学校校舎長寿命化改修 4億351万円
- 青山小学校屋内運動場長寿命化改修 3億8360万円
- 見前小学校校舎長寿命化改修 3億4180万円

限りある資源を大切に活用していきます!

市の施設を効果的・効率的に管理する方法を紹介するキャラクター 石割さくらこ

